

セルフモニタリング報告書(令和元年度分)

令和2年4月30日

施設名 ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ
 指定管理者名 (公財)苫小牧市スポーツ協会
 所管課名 まちづくり推進室スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画概ね達成	A・ B ・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	概ね達成	A・ B ・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	計画通り実施	A ・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	利用団体とゴミ拾い	A ・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	概ね利用者満足	A・ B ・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	常時提案箱を設置 受付で把握	A ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	早急に回答及び 苦情処理を実施	A ・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	燃料費・光熱水費 経費削減	A・ B ・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	最低限の委託	A・ B ・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	積極的な合宿誘致	A・ B ・C・D・E
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	副館長を配置	A ・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか(研修等)。	消防・防災訓練の他、 日本公共スポーツ施設 策推進協議会研修会 に参加	A・ B ・C・D・E

施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	条例に基づき処理	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	苫小牧市個人情報保護 条例に基づき管理	Ⓐ・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	特に問題なし	Ⓐ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	適正に実施	Ⓐ・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	適正に実施	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	定期的な巡回 注意放送	Ⓐ・B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	法に基づいた管理	Ⓐ・B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元業者を最優先	Ⓐ・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

（最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。）

指定管理者の自己評価(全体を通して)

館の利用状況につきましては、新型コロナウイルス及び冷却塔工事の影響により昨年より2,738人減少しました。一般滑走は前年比1,311名の減少、専用利用等は1,427名の減少となりました。一般滑走は前年比1,311名の減少、専用利用等は1,427名の減少となりました。

利用料金収入についても上記理由により、2,294,840円減少しました。一般滑走は109,300円減少、専用貸切が昨年より2,185,540円減少となりました。

支出経費については、削減努力もあり電気使用料で1,481,692円減少、灯油代で970,668円減少いたしました。

施設の利用促進に向けた取り組みとしては、オープニングイベントやスケート教室を複数回実施するなど地域住民がスケートセンターに来場する機会を作り、利用者増を図りました。さらに一般滑走時には、注意放送や監視ボランティアを依頼するなど利用者の安全確保にも務めました。また、タイヤメーカーの走行テストなどスケート以外でも幅広い利用がされました。